

病院問題特別委員会中間報告

本委員会は、昨年6月開催の第1回定例会において、中央病院の経営及び改革について、議会として効率的かつ機動的に調査・審査するため、前任期に引き続き設置されたものであります。

まず、同年6月21日に第1回の委員会を開催し、正副委員長の互選を行い、委員長に田中正剛議員、副委員長に花岡ゆたか議員を選任いたしました。

以下、本委員会が設置されて以来取り組んでまいりました議案審査及び調査経過につきまして、ご報告申し上げます。

- 1 7月7日に委員会を開催し、東日本大震災支援対策として議会の議決に先行して行われた補正予算（中央病院所管科目）の専決処分報告1件の審査を行いました。また、西宮市立中央病院移転整備等検討委員会の中間報告について、市当局より報告を聴取するとともに、質疑、意見の交換を行いました。

なお、中間報告の概略は次のとおりであります。

まず、中央病院に求められる診療機能の検討では、救急医療、がん診療、災害・広域的呼吸器感染症対策であるとし、そのために必要な診療科を、内科、外科、整形外科、小児科、泌尿器科、放射線科、麻酔科の7診療科、病院の規模を200床、最適な施設整備の方法を移転建てかえ、最適な立地を兵庫県立芸術文化センター第2駐車場としております。

次に、今後の収支改善策の検討では、より多くの施設基準を取得し収益の向上を図る。給与水準の適正化等によって給与比率をおおむね54パーセント以下とする。病院独自に病院経営に精通した職員の採用等を進めることをあげております。

次に、経営形態の検討では、現状では地方公営企業法全部適用が最適とし、人事、給与、契約などの権限移譲と病院経営に精通した事業管理者・事務長職員の採用し、専任職員の育成、評価制度給与水準の適正化を図るべきであるとしております。

最後に、黒字経営が可能であるかの収支シミュレーションを行い、初期投資費用7,192,500千円とし、給与水準を自治体黒字病院、民間病院300床の診療単価を用いた場合のみ、資金不足が発生せず、開院7年目以降黒字となるとしております。

- 2 8月24日に委員会を開催し、前回開催の委員会において各委員から提出要望のあつ

た人件費54パーセントに至る経過が分かる資料等の提出を受け、それらについて市当局より説明を聴取するとともに、西宮市立中央病院移転整備等検討委員会の中間報告について、改めて質疑、意見交換を行いました。

なお、前回の報告に係るより詳細な資料についての説明のほかに、中央病院を廃院した場合に必要な費用として退職金約16億円、企業債の一括償還約8億円、病院解体費用約4億円の合計約29億円が必要となるほか、一般会計からの長期借入金未返済額20億9,600万円があること、中央病院を廃院した場合の地域医療への影響として延べ入院患者58,536人、外来患者124,682人の受け入れと、現在中央病院が果たしている3つの地域医療機能(がん診療機能(県のがん診療連携拠点病院に指定)救急体制(病院群輪番制の役割)、災害・広域呼吸器感染症への対応機能(地域防災計画において応急医療活動の拠点、平成21年度新型インフルエンザ発生時の受け入れ))が失われることとなるなどの説明を聴取しております。

3 12月20日に委員会を開催し、西宮市立中央病院の移転整備後も、歯科口腔外科の存続を求める「西宮市立中央病院歯科口腔外科の存続に関する陳情」の審査を行いました。また、西宮市新病院基本構想(素案)について市当局より報告を受け、質疑、意見交換を行いました。

なお、西宮市新病院基本構想(素案)では、新病院の診療機能、診療科目、7対1体制への移行、病床規模、整備方法、経営形態、経営健全化の取り組みなどについては、いずれも中間報告と同様の趣旨であります。移転先を津門大塚町のアサヒビール工場跡地と見直しを行っているほか、整備手法についてPFIの可能性を検討され、移転整備までのスケジュールについても記述されております。

4 本年3月14日に委員会を開催し、資本剰余金の処分方法などを改定する条例改正など議案3件の審査を行いました。また、西宮市新病院基本構想(素案)に対する意見提出手続(パブリックコメント手続)の結果など2件について市当局より報告を受け、質疑、意見交換を行いました。

このように本委員会が設置されて以降5回にわたり委員会を開催し、本委員会に付託された議案等について審査し、並びに中央病院の経営及び改革について調査研究をしてまいりました。

以上が本委員会の今日までの活動の概要であります。

なお参考まで、本委員会委員の一部を提出者とする「西宮市立中央病院の経営健全化に関する決議(案)」が10月4日の本会議に上程され、賛成多数により可決しましたことを併せて申し述べます。

今後も中央病院の経営及び改革について、引き続き調査研究を進めてまいる所存でありますので、さらに閉会中の継続審査の議決を賜りたくお願い申し上げます、中間報告といたします。

以 上